



2019年4月24日から地元ミニコミ紙「サンデー山口」に連載して来た「イラストでたどる萩往還」も目出度く完結を迎えた。ご愛読に感謝。第1回が2019年4月のことだったから、まる3年になる。ただし、少しも大変ではなく、イラストを描くことと説明文を書くことを私自身が一番楽しんで来たと言ってもいい。実は萩往還の終点は、ここ御舟倉ではなくて、前回お届けした英雲荘である。1725年、広島県鞆の浦近くで参勤途中の



中の天長丸が遭難するまでは、藩主はここから海路大坂まで船で移動し、また下向の際もここに帰着した。そういう歴史があるから、萩往還語り部の会でも、通常この地点までご案内している。そのためここを最終回としたのである。本文にも書いたように、幕末、正にここは長州藩の海軍基地だった。そして高杉晋作が丙寅丸を駆って、果敢に大島沖の幕府海軍に夜襲をかけて退散させたのも、出発点はここだった。しかし、今はまるで池のような一角がかつての海軍基地を忍ばせるのみである。その長州海軍については詳しいレポート「長州海軍について」を書いている。ご希望の方にはメールにて配信するので、お気軽に是非どうぞ。

さて、この度、山口市菜香亭のご厚意で、これまで描いて来たイラスト原画 36 枚を一気に展示するイラスト展、題して「イラストでたどる萩往還三十六景展」を開催する運びとなった。詳細は以下のとおり。

- ・日時 2022.4.13(水)～18(月)までの6日間 9:00～17:00
ただし、13日は午後1時から、また18日は午後2時まで
- ・場所 山口市菜香亭 2F 市民ギャラリー 山口市天花 1-2-7 083-934-3312 駐車場有
- ・展示 萩往還イラスト 36点他 入場無料
- ・プレゼント ①イラスト原画6点(6点の中から好きなものを選び、抽選で6名の方にプレゼント)
②萩往還絵巻書2セット(8枚セット、抽選で2名の方にプレゼント)
③萩往還手拭い3本(萩往還イラスト入り)

というような内容で開催予定。菜香亭でのイラスト展は2017年以来の2回目の開催となる。イラストだけでなく、菜香亭の歴史ある建物、歴代総理の扁額などもご覧いただきたい。但し観覧料100円要。4月からは「イラストでたどる石州街道」の連載も決定した。今度は新山口(小郡)から津和野手前の野坂峠までの旅となる。前半はすでに歩いているが、後半は連載の合間に辿ってみるつもりである。(2022.3.24 記)